

中学校全員給食を求める請願を市議会が否決



4月から署名活動を開始した「小学校と同じように全員が食べる中学校全員給食の実施を求める請願」を、みなさんから頂いた署名13102筆を添え9月市議会に提出しました。これを受け市議会では福祉教育常任委員会で審査されるとともに、本会議で質疑されました。請願は最終本会議で採決されましたが、残念ながら賛成5反対11で否決されました。

署名時にはみなさんからたくさんの声が寄せられました。あきらめずに、市民の声をさらに大きくする事で、これらの声に応える市政や市議会に変えて行きましょう。

署名時に寄せられた声



よそでは普通にやってるのに、河内長野はよそと何が違うの



自分が作る弁当では、子どもの好きなメニューを入れがちで栄養がかたよる



河内長野に引っ越してこようと思ってるので、やってほしい



なぜ市は給食をやらないのか。そういうことのために税金を払っているんだ



弁当はいつも晩ご飯の残りや冷凍食品。小学校のように給食を食べたい。小学校の給食美味しかった



弁当を作る時間を、朝ご飯を子どもと一緒にゆっくりたべる時間に充てたい



忙しいお母さんにお弁当を頼めないから冷たい弁当給食を我慢して食べている



若い人が河内長野に来てもらわなアカンから、給食は絶対必要



僕らはこういう署名を待っていた(中学生男子)



部活の朝練もあり、お弁当が傷まないか心配



9月 議会の中で各会派の請願に対する賛否の理由要旨は以下の通りです。(本会議・委員会の発言より)

自民党【反対】

95%もの保護者が弁当を作っている事は他市に対して誇るべき宝。輝く財産。

公明党【反対】

弁当を毎日インスタに載せるのを楽しみにしている母親がいる。給食が冷たいのなら電子レンジで温めれば良い。選択制給食は他市に無い優位性を備えている。

大阪維新の会【反対】

愛情弁当は大変重要な要素。全員給食を実施するとお弁当を作ってあげたい保護者や、お弁当を作ってもらいたい子どものニーズを尊重できない。請願で市に対して圧力をかけるのは時期尚早。

山本議員【反対】

弁当で子どものとつながりを確保できているので絶対にやめて欲しくないとの多数の保護者が言っている。当事者の生徒・教職員が反対している。

みらい創造 山口議員【反対】

中学生は発育に個人差が大きく、保護者の弁当がベスト。親子の絆が希薄になっており選択制が望ましい。

みらい創造 堀川議員【賛成】

人口減少、労働力不足で働く女性も多い。子どもの貧困も深刻。デリバリー方式の民間活用で全員給食の実施を。

日本共産党【賛成】

多数の民意を尊重すべき。国も食育の中心は活きた教材の給食としている。人口減が大きな課題のなか子育て応援の視点からも中学校給食は必要。喫食率5%は選択式給食の失敗を示している。

お知り合いの議員さんに中学校全員給食実施の思いを伝えましょう

本会議や委員会の様子は市ホームページから録画で見ることが出来るので、さらに詳しく各議員が何を言っているかが確認できます。

また議員の住所や電話も公開されていますので、手紙や電話もできます。市民が直接議員と話しをして、自分の思いを伝えることも議会を動かす重要な方法の一つです。(請願に対する賛否は右記表)

日本共産党				みらい創造			無所属			大阪維新の会		公明党				自民党	
駄場中議員	宮本議員	丹羽議員	角野議員	堀川議員	中林議員	山口議員	道端議員	山本議員	桂議員	土井議員	浦尾議員	中村議員	浦山議員	三島議員	大原議員	峯議員	木ノ本議員
○	○	○	○	○	×	×	×	×	議長	×	×	×	×	×	×	×	欠席

13102筆の住民の声を聴く市政・議会に！

日本全国で当たり前の中学校全員給食 市教育委員会は全員給食を否定せず展望と計画を

時期尚早？ 喫食率は5%に低下、選択給食の破綻はあきらか

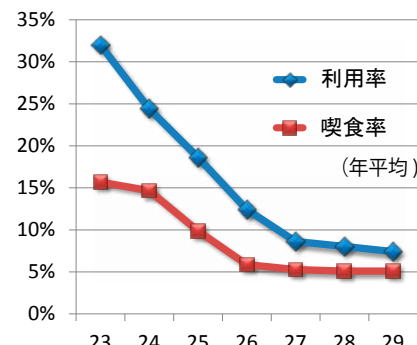
市教育委員会はしきりに「まだ本格実施から2年しかたっていない」と言い、家庭からの弁当が基本と固執しています。「中学校給食調査検討委員会」の発足から8年経過しています。選択給食はH23年11月に東中学校からスタートし2年前の千代田中学校を最後に市内全校で実施されました。当初、利用率41%・喫食率19%（H23年12月）でし

たが年々低下し、現在では利用率7%・喫食率は5%になっています。結果をみると、河内長野の選択制弁当給食は破綻してと言わなければなりません。

市教育委員会は給食を否定するのではなく、どうすれば中学校全員給食が出来るのか、展望と計画を示すべきです。

◆利用率：月1回でも利用した生徒の率

■喫食率：1日当たりの給食利用率



スタートから7年 下がり続ける利用率

人生最大の発育期の中学生 豊かな給食で心と体の成長を



生徒と教職員は給食に反対？

◆小学校給食は美味しいと好評

河内長野市の小学校の給食は保護者も参加する「献立委員会」や「物資購入委員会」を通じてつくられ美味しいと評判です。

子どもたちが給食を嫌という理由は为什么呢。他市のアンケートを見ると「嫌いなものが出る」「給食当番が嫌」などが多くを占めています。もちろん食育とは、子どもに無理矢理嫌いなものを食べさせる事ではありません。「食べる楽しさ」を給食を通じてみんなで学ぶことが大切です。

◆多忙な教職員の負担減を

ほとんどの教職員は給食そのものに反対と言うよりも「今でも業務多忙なうえに給食指導も増えるのは大変」ではないでしょうか。教職員の加配や少人数学級などの方法も論議すべきです。給食指導が管理教育にならない余裕こそが必要です。

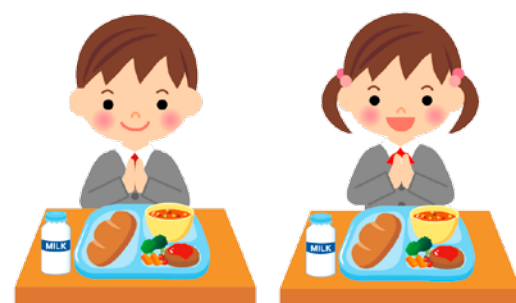
子どもたちは小学校で6年間給食を食べてきています。全国では89%の中学校で実証済みです。市教委は全員給食実施に向け課題を出し合う事に踏み出すべきです。

島田市長の施策実現を市民の声で後押しを

「若い夫婦が働きながら安心して子育てできる街づくりを推進」＝市長 所信表明

9月議会、島田市長は自民党代表質問への答弁で「順番としては（中学校の次に）小学校のエアコン、それから中学校給食に取り組んでいきたい。財源確保できればという事で、私自身は給食に関しては決して否定的ではございません。主な理由は、今の子育て世代には共働きの

家庭が多い。なかなか経済的にやっていけない理由で共働きがある。私としてはお母様方の負担を少しでも減らしてあげたい。それがたとえ30分であれ。今のこの時代の流れ、共働きの中で中学校給食を積極的に考えていきたい。ただ財源なしには出来ない」と答えました。



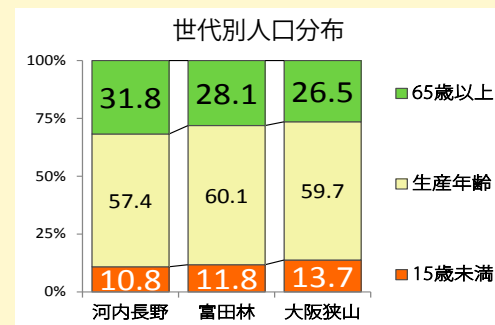
来年 中学校にエアコン設置

島田市長はH29年度施政方針の中でH30年に全中学校へのエアコン設置を約束。小学校はその後、設置を計画するとしています。

現在中学校は7校、小学校は13校です。通常の計画ならあと2年で実施は可能です。

自治体消滅の可能性が府内で最も高い？

河内長野市の人口減少は極めて深刻です。子育て世代である生産人口の減少は市税収入に直結します。高齢者福祉を維持し、多世代が安心して共に暮らせる街づくりを行うためにも、保護者の多数の願いである中学校全員給食は待ったなしの施策です。



子育て世代が求める中学校全員給食で
多世代が安心して共に暮らせる街づくりを